



志津南

7月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (6/1 現在)
世帯数 2,377 総人口 6,450 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

市まちづくり協働課 町内会活動などで学区説明会

市の配布物など地元負担軽減へ

草津市まちづくり協働課が7月4日のまち協理事事会で、町内会活動や運営について説明会を実施しました。写真。草津市全体の町内会長会が5月に予定されていましたが、コロナの関係で中止となり、各学区単位での説明会となりました。その概要は

▽行政事務の一部委嘱

住みよい地域を目指し、町内会と行政とは、協力・連携して協働によるまちづくりを行っています。とくに正確な情報伝達、住民の皆さまの行政に対する意識の把握等について、橋渡しが必要であり、地域の代表者である町内会長に、これらの行政事務の一部を委嘱しています。

▽地域コミュニティ補助金

町内会が設置する集会所の整備に要する経費に対しての補助。建築、用地取得増築、修繕が補助対象です。

②自治会活動保険加入補助

町内会活動に伴う事故等の損害にかかる保険加入の保険料の一部を補助するもので、年度内は、随時受付。

少しずつ賑わい戻る



志津南まちづくりセンターは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月31日まで休館していましたが、6月1日より県の感染防止対策などに基づき、一部の利用制限があるものの3密対策を講じたうえで利用可能となりました。

▽利用状況

4月度 30団体、230人
5月度 なし
6月度 31団体、728人

6月前半は、各団体とも安全面を考慮してキャンセルが目立ちましたが、徐々に復活、活動が開始し始めています。

7月1日からは3密対策を講じることが前提ですが、更に利用制限が緩和され、平常通り利用することができ、本来の姿に戻ってきています。

8月1日以降については、国や県などの方針に基づき改めて検討することになります。



③コミュニティ振興交付金
集会所の上下水道の基本料金の一部を交付。

▽新型コロナウイルス対策
感染者数が再び増加し、第2波の可能性が報道されていますが、7月3日時点で

で国や県は段階的な緩和が示されています。それらに準拠した市の考え方に留意し、会議やイベント等の実施を検討いただきたい。熱中症リスクも高まる時期なので、併せて対策いただきたい。

▽依頼事項の軽減
近年、役員の高齢化が進み、担い手も不足しています。町内会における事務の負担軽減は喫緊の課題であり、町内会への依頼事項も軽減を図っていきます。

①月1配送に変更
全戸配布等の配送日を毎月1日付けの月1に変更。回覧物も半分程度に

削減。広報くさつは、月1回の発行に変更。

②行政事務委託料単価改定
配布物の集約や回覧物の削減等により、市から町内会長への行政事務委託料の単価を令和3年度から改定する予定。

③町内会における負担軽減
町内会の組織体制や事業運営などの見直しについて市も支援していきます。

市からの説明の後、質疑応答の時間が設けられました。行政事務委託料の単価改定で、節約できた費用分を市民へ還元する考えがあるのかという質問や、町内会の予算にも関わることで具体的なスケジュール等を教えてほしいという意見などがありました。

地域で守ろう子ども達

志津南小学校(水野晃校長)は同小PTA、志津南学区まちづくり協議会と連携し、「志津南おかえりストリート」SOSプロジェクトを企画しています。

コロナ感染症の影響で、今年の夏季休業は例年より短く、子ども達は猛暑・炎天下での下校を余儀なくされ、健康管理が心配されます。そこで地域の施設・店舗に協力をお願いしています。

既に13施設に協力を呼びかけ、7月27日～8月31日、目印ののぼりを掲示し、助けを求めて訪れた子どもの事情を聞き、小学校への電話連絡、教職員が到着するまでの間の保護等に快く応じていただいています。



完成した、SOSプロジェクトののぼり

今後は、制作中ののぼりが完成したら協力施設に届け、きちんと書面等で手続きを進める予定です。

型コロナウイルス感染拡大の開幕式を行いました。新



3か月ぶりに楽しくウォーキング

外から福知山城を見学する参加者



知られざる光秀に想い馳せ…

志津南まちづくりセンターは6月17日、第1回史跡探訪を実施しました。

延期されていた講座です。今回は、全員検温、体調チェック、マスク着用を必須とし、公用バスの定員も半数、福知山城内にも入れないなど制限がありました。12人の受講生が参加し、福知山・亀岡方面まで出かけることができました。車中はボランティアガイドの野津さんの光秀談義を聞き「知られざる明智光秀」に想いを馳せながら福知山城へ到着しました。転用石が用いられた光秀時代の石垣や、豊壁の井戸、由良川の流れを変え「光秀藪」と

される堤防の話、そして光秀公の御霊が祀られた御霊神社などを見学。午後は亀岡へ移動し、亀山城周辺の城下町を、駆け足で巡ります。

「本能寺の変」の真相は明らかではありませんが、かつて「逆臣」と呼ばれている光秀とは違う真の人物像を、まだまだ知りたいと思っています。

第2回は8月19日(水)志津南まちづくりセンターで座学、第3回は11月4日(水)に大山崎方面へ行く予定です。

3密に気をつけ準備体操するメンバー

志津南まちづくりセンターは6月20日、健康講座「ウォーキング」を行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け3月から活動を休止していましたが、感染症予防のための体温測定、3密に気をつけながら再開しました。

初めての参加者3人を含め、参加者29人。3か月余りの自粛にもかかわらず、皆元気に参加しました。準備体操後、ぼちぼちコース(若草中央公園周り)と健脚コース(青山グラウンド・せせらぎの道)に分かれ歩きました。梅雨の晴れ間、道端には鮮やかなアジサイが、またせせらぎの池には睡蓮の花が見頃で「美

しいね」と久しぶりの再会やウォーキングにとっても楽しそうでした。

ノルディックウォークは2本のポールを持って歩く

書面議決で全議案承認

志津南学区社会福祉協議会(上田恒章会長)は6月17日、全理事の書面議決で総会にかけるすべての議案を承認しました。理事総数72人のうち、賛成65人反対0人の過半数の賛成で原案通り可決されました。

議案は、令和元年度活動報告と収支報告、ふれあいハウス「絆」の収支報告、令和2年度事業計画と収支予算です。

令和2年度の予算方針は高齢者と、現役世代のバランスを取って予算化しました。主な事業は敬老会、一人暮らし高齢者支援、高齢者と子育て支援事業などです。

令和元年度策定の志津南学区地域福祉活動計画をベースに、地域にお住まいの全ての人に手を差し伸べて

令和元年度 社会福祉協議会収支決算

収入の部	
項目	金額
まち協活動費	1,980,006
市社協一括補助金	335,000
地域サロン助成金	425,000
前年度予備金・賛助金	115,853
前年度繰入金(繰越等)	195,355
収入合計	3,051,214

支出の部	
項目	金額
まち協活動経費	
事務・保険・光熱費等	190,474
地域支え合い活動	90,605
敬老会	1,158,162
市社協会費	300,000
まち協返戻金	240,765
小計	1,980,006
市社協一括補助金	
事務ネットワーク費等	92,528
一人暮らし支援活動	100,000
福祉の担い手づくり	135,000
個別援助活動	35,000
小計	362,528
絆活動・サロン活動	
絆活動支援	100,000
地域サロン活動支援	425,000
小計	525,000
合計	2,867,534
次年度繰越金	183,680
総合計	3,051,214

令和元年度 ふれあいハウス収支決算

収入の部	
項目	金額
ふれあい喫茶代金	508,500
麻雀室利用料	59,600
バザー売上げ・寄付等	65,884
社協補助金	40,000
収入合計	673,984

支出の部	
項目	金額
コーヒー等材料費	437,994
ハウス什器備品	87,800
絆ニュース発行	72,968
市社協災害寄付	50,000
小計	648,762
次年度繰越金	25,222
支出合計	673,984



刺しゅう

復活



祇園祭山鉾巡行

前祭・後祭 美しく清らかで
八坂神社御旅所の前を長刀鉾を先頭に雄々しく
住民一丸となり、情熱を炎ともやし
進んでいく姿に疫病退散
バンザイ！バンザイ

(創作手芸作家 三尾三紀子)

おやっこ再開 久しぶりの笑顔

久しぶりに会って遊ぶ子ども達



子育てサークル若草おやっこクラブ(山出聡子代表)が6月18日、活動を再開しました。

7組の親子の参加で始まった今年度初サークルは、いつものおはようの歌や体操から始まりました。そして、いろんな動物がシャッ

開きました。コロナウイルス感染症の影響を受け、2月を最後に活動を休止していたもので、2月の再開に、お母さんにピッタリくっついて硬い表情だったお友達も、時間とともに笑顔が増え、走りまわる姿が見られるようになりました。令和生まれの新しいお友達も増え、平成生まれのおにいちやん、おねえちゃんとともに楽しいスタートを切ることができました。4か月ぶりに会うお友達は2月の頃よりずいぶんしっかりしていて、この自粛期間の長さを感じました。

またまたコロナウイルス感染症の脅威は続きそうですが、今年度も変わらず親

電子温度計を寄贈

ボランティアグループ「泉」(藤田清子代表)は6月18日、健康管理に役立てればと、「非接触式電子温度計」を、まちづくりセンターとふれあいハウス「絆」に寄贈しました。私たちの日常を一変させた新型コロナウイルス感染症の流行は、国内ではある程度収まり、自粛解除の発表と共に日常の活動・行動範囲も広がりを見せてきま



まちづくりセンター(上)と絆(下)に温度計を寄贈する「泉」のメンバー



「新しい生活様式」が厚生労働省から公表されました。ウイルス感染から身を守るため、互いに気をつけて過ごすことには変わりありません。私たちボランティアグループ「泉」は地域で30余年、昨年、「無理なく楽しく笑顔で」をモットーにコツコツと続けてきた私たちの活動を評価していただき、草津市コミュニティ事業団から「イキイキ活動賞」を受賞しました。参加者、スタッフみんなでいただいた賞金をこの時期に活用させていただきます。

(垣根和子)

ほんとのおおきさ動物園

小宮輝之 監修
福田豊文 写真
学研プラス



これは絵本というより図鑑です。動物たちの写真がすべて至近距離の実寸大で、動物園では見られないところまで、それこそラクダの涙やアシカの耳までばっちり観察できます。

ページの右側にイラストで、特徴や秘密が添えられていて、大人も満足できる内容です。おどろきの発見と迫力いっぱいのおおきさシリーズは「水族館」や「あかちゃん動物園」など、

次々と刊行されているので、興味のあるものから手に取ってみてください。お出かけできなくても家族でワイワイ楽しめる本ですよ。私は拡大ページのキリン(名前はルル)に胸キュンです。

「ポイント」まずは楽しく語り合う。まずは写真を見て、楽しく語り合います。読み聞かせたい時は、説明コラムをあらかじめよく読んで、伝えたいことをまとめておきましょう。

(中西ひとみ)

笹の葉に飾ったよ



子育てサークルきらりん(吉元明恵代表)は、6月22日、かがやきの丘町内会館

子でほっこりできるサークルを続けていけたらいいなと思っています。

「新しい生活様式」が厚生労働省から公表されました。ウイルス感染から身を守るため、互いに気をつけて過ごすことには変わりありません。私たちボランティアグループ「泉」は地域で30余年、昨年、「無理なく楽しく笑顔で」をモットーにコツコツと続けてきた私たちの活動を評価していただき、草津市コミュニティ事業団から「イキイキ活動賞」を受賞しました。参加者、スタッフみんなでいただいた賞金をこの時期に活用させていただきます。

お一人暮らし、昼間お一人の高齢者の方々と月1度の昼食会、春・秋のバスツアーを実施しています。お楽しみ会の昼食会は3ヶ月お休みの状態です。状況の改善が進みますよう待ち望んでいます。

全国河川功労者表彰

志津南環境美化ボランティアの会(舟木要一代表)



この表彰は河川環境の保全に貢献した団体・個人を表彰するもので、同会の受賞は平成25年からびわ湖に流入する伯母川及び調整池における草刈り、浚渫、ごみ拾いや芝桜の植え付けを実施するとともに、小学校における川をテーマとした学習(3年生の魚つかみ、6年生の芝桜植え付け)を実施するなど河川愛護活動や河川環境の保全に取り組んできたことが評価されたものです。

今回の受賞は全国で101の個人・団体の方が受賞されましたが、滋賀県からは同会が唯一の受賞となりました。

が全国河川功労者表彰を受賞しました。写真。東京で6月2日に開催予定の日本河川協会の定時総会に出席する予定でしたが、コロナの影響で中止となりました。

冊を飾りました。青々とした本物の立派な笹の葉をいただいたので、自分の背丈より大きな笹の葉を持つ姿がとてもかわいかったです。

やすらぎ学級スタート

衣装も鮮やかな舞踊に見入る参加者



やすらぎ学級第2回講座が6月24日、志津南まちづくりセンターで開催され、学級生29人が参加しました。

「踊りとマジックで元氣はつらつ」と題し、舞踊にみどりの会の皆さん、マジックに田淵さんを講師に招きました。

コロナウイルスの影響で、第1回やすらぎ学級は残念ながら中止となった為、今

回は実質のスタートとなり、第一部では、素敵な衣装で「泣いちゃえ渡り鳥」加賀友禅の女

(ひと)の2曲の舞踊を披露していただきました。

第二部では、カードやロップを使用したマジックから、スカーフや水を使ったマジックまで、次々に披露されるパフォーマンスに受講生も見入っていました。

最後には、輪ゴムを使った簡単なマジックを教えてください、受講生も興味津々に参加し、歓声や笑い声が

あがっていました。「久々にやすらぎ学級のメンバーの皆さんに会えて嬉しかったし、とても楽しい時間だった」との声を聞くことができました。

「絆」消毒や換気徹底して再開

ふれあいハウス「絆」が6月15日から再開しました。

皆様安心して寛いでいただくため、テーブルや椅子・手すり・ドアノブ・トイレなどの消毒を徹底、換気に気をつけて感染防止に心がけています。

また、皆様にもご協力いただき、履物を下足棚に入

れています。多人数の入室や長時間の利用はできませんが、7月からはグループの行事も再開します。まだ通常開所とは言えませんが、地域のふれあいの場所として、皆様のお越しをスタッフ一同お待ちしております。

Zoom初体験

志津南まちづくりセンターは7月2日「せんか? サロン」と名付けパソコン研修を実施し、10人が参加しました。写真。また、草津市コミュニティ事業団から2人が見学にいられました。

Zoom初体験



通常のパソコン修得講座とは一線を画し、初めての事でまよとよとやってみませんか?と呼びかけ、皆でワイワイ楽しもうという試みです。

初回は「Zoom 使ってみませんか」と題し、あちこちで脚光を浴びている



再開した絆で寛ぐ参加者

え? ど? これ...



志津南まちづくりセンター裏に、職員手作りのステキなガーデンがあるのをご存知ですか? おしゃれな立札も手作り。可愛い花が咲いていたりします。一度、覗いてみませんか?



しています。

ミートングアプリ「Zoom」を取り上げました。コロナウイルス感染防止対策の一環で、リモートワークやオンライン会議が注

目を集めました。更に、仕事にとどまらず「オンライン飲み会」「オンラインヨガ」など、対面せず自宅に居ながら日常を楽しむ術が手探りされています。

そこで「Zoom」とは一体何? から始め、ミートングへの参加の仕方や背景の考え方、画面共有の仕方、更にはミートングの聞き方などを学びました。

参加者からは「難しくないんですね」「遠くに住む子

随想

思いのままに



かには浅はかであるか、考えれば直に分かることです。

ご存じと思いますが、芥川龍之介の小説に「河童」というのがあります。彼の描く河童の世界では、お腹の子どもの外の世界が見え、口がきけるのです。いよいよ生まれるという時になると両親の河童がお腹

人の信用価値

の子に「お前はここの河童の世界をずっと見てきただろうが、どうだ生まれていいか?」と聞くのです。その時、子河童が「いいえ、こんなつまらない世界になんぞ生まれたくありません」と言う。と医者の子河童が母河童に注射をします。その瞬間に子河童は消滅してしま

うのです。逆に子河童が「是非生まれたい自分を試したい」と言えばそのまま生まれて来ることになります。従って生まれ出た子どもは自分の身の上について不満を言う事は出来ないのです。

人間は自分の意志で生まれて来ているので、身の回りに起こる不幸な出来事を親のせいや環境のせいにしてあげますが、河童にはそれが無いのです。私たちがともすれば自分の境遇を嘆くことがあります。ここは一つ見方を変えて、自分

(T・A)